



嘉麻市
指定無形民俗
文化財

ひらやま ししまい 平山の獅子舞

筑豊は「獅子舞の里」と呼ばれるほど、獅子舞が盛んな地域です。戦時中に多くの地域で獅子舞が途絶えた中、平山地区では、古い伝統を残す獅子舞が平山八幡宮の秋祭りに奉納されています。大分八幡宮の獅子舞の流れをくみ、雄獅子と雌獅子それぞれを二人一組で演じます。また、派手な衣装を身にまとった子どもによる太鼓の「回り打ち」も演じられます。



嘉麻市
指定無形民俗
文化財

しもうすいにし ほんづな 下臼井西の盆綱

下臼井西地区では、家内安全、無病息災などを祈り、8月15日の盆行事として今も盆綱引きが行われています。フジカヅラを芯にワラで束ねた大綱を二手に分かれて引き合います。綱引きには地獄から先祖を引き上げる仏教的な意味もあり、勝敗よりも綱を引き合うことに意味があると考えられています。



福岡県
指定無形民俗
文化財

やまの がく 山野の楽

山野地区には地元で「山野ん楽」と呼ばれる楽打ちの芸能が伝わっています。楽打ちとは、胸に付けた締太鼓を打ち鳴らしながら舞う太鼓踊りの一種で、山野地区では、毎年9月の秋分の日、若八幡神社に奉納されています。笛に合わせて舞う鎮魂行事の「笛楽」と楽方が歌を歌いながら舞う祈願行事の「歌楽」とが演じられます。



マツリ(祭り)の本性は、神霊が現れるのをマツ(待つ)こと、現れた神霊にマツラウ(仕える)ことと言われています。現代では、こうした祭り本来の性格から離れたイベントとしての「お祭り」が盛んに行われるようになりましたが、地域の伝統行事として各地で大切に守られているものもあります。

少子高齢化社会をむかえ、伝統芸能の次世代への継承は嘉麻市でも大きな課題となっています。しかし、一方で伝統芸能は地域のアイデンティティーを確認し、地域の絆を深める手段として重要な役割も果たしています。

伝統とは古いものを頑なに守り続けることだけではありません。時代の変化に対応できる柔軟性こそが新しい伝統を生み出していくのです。

現代へと
引き継が
れる伝統

Column



弥栄神楽座 いやさかかぐらざ

2014年、地域の人々に親しまれ伝承される新しい「神楽」の創造を目指して、上山田地区に「弥栄神楽座」が設立されました。メンバーは、市民を中心に、小学生から50代までスタッフを含めて約40名で構成。現在は、上山田地区の射手引神社で年一回(5月)の奉納と、老人会、市のイベント、記念式典など幅広く活動しています。また、市内だけでなく、各地域へのお祭りや行事等への出演依頼も多く、市外での神楽演舞では市のPRにも貢献しています。

衣装や神楽の演目など
全てオリジナルで
創作しています!



嘉麻市の豊かな

暮らしをつくる

教育 | 運動・スポーツ | 福祉



四季の催事

10月

◆一夜城まつり

ライトアップ期間には、連日荘厳な一夜城が益富城址に蘇ります。一夜城まつりでは、ステージイベントで会場が大いに盛り上がり、花火が秋の夜を彩ります。



◆かかし祭り

田んぼの中には今にも動き出しそうな「かかし」が沢山。トロッコフェスタinYAMADAと同日開催され、訪れる人々の目を楽しませてくれます。



◆トロッコフェスタinYAMADA

11月

◆嘉麻ふれあいまつり

市内の各種団体により構成された実行委員会により開催される嘉麻市の秋のイベント。出店や踊りなどのステージイベントが催されます。



◆嘉麻シティマラソン

嘉穂総合運動公園を発着点に開かれ、県内外から多くの方が参加しています。自然豊かなコースを走り、沿道からは大きな声援が贈られます。



12月

◆献鮭祭

鮭神社で毎年12月13日に氏子流域住民・水産関係者が五穀豊穡や無病息災を祈り、その年の遠賀川流域を遡上してきた鮭を奉納します。



1月

◆馬見山

初日の出登山

◆新春登山 長谷山

～初日の出を見る会～

◆若水くみ



2月

◆楽しく、走ろう!

ふくおか子ども駅伝in嘉麻

3月

◆梅林公園観梅会

紅梅や白梅が咲き誇る嘉麻市梅林公園で行われる催し。2月中旬から3月中旬にかけての観梅期には売店も出店し多くの観光客で賑わいます。



4月

◆さくらまつり嘉麻

桜の名所 稲築公園でステージを中心に地元芸能・大道芸などで賑わいます。屋台もあり、花見気分を盛り立てます。



◆トロッコフェスタ inYAMADA

昭和63年に廃線になった上山田線を利用したイベント。



◆つつじ祭り

5月

◆長谷山新緑祭

毎年5月5日のこどもの日に開催されている長谷山新緑祭。長谷山で収穫した山菜の天婦羅などを振舞います。



◆馬見山山開き

7月

◆いなつき子ども山笠

稲築地区にて、西流と東流に分かれた2基の子ども山笠が地域を走り、元気いっぱいな子ども達の姿が見られます。

◆大隈町祇園祭

三日町・五日町・上町の3つの地区から山笠がたち、大人から子どもまで、威勢の良い掛け声とともにまちを駆け抜けます。

◆飯田地蔵祭

五穀神社の境内にあるお地藏様の祭で、毎年7月23と24日には商店街一帯に夜店が出て賑わいます。



◆射手引神社 祇園祭・宮移り

約250年続く伝統行事で、境内へ続く130段の石段を、約2時間半かけて上がりながら舞う珍しい獅子舞です。

8月

◆下臼井西の盆綱引き ◆古処山探検隊

9月

◆雁金納め

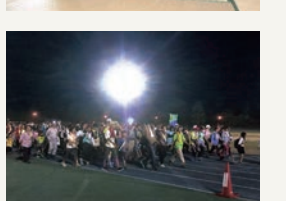
芥田地区に古くから伝わる狂言で、毎年9月13日に行われる水神祭に奉納され、400年以上の歴史があります。



◆かま

ナイトウォーキング

嘉麻市の自然を感じながら夜道を歩きます。ゴールでは豚汁が振舞われ、市内外から多くの方が参加されます。



◆山野の楽 ◆平山の獅子舞

生涯学習

より多くの方が
学びに触れる
機会をつくる

今日では、社会のさまざまな教育の機能を活用して行われる学習を生涯を通して行うことが重要であるといわれています。そこで、嘉麻市では市民が生涯を通して、いつでも自由に学習の機会を選択し、学ぶことができるように生涯学習施設の整備や、各種教室の実施などを行なっています。

また、市民やボランティアによる民間での生涯学習や、サークル活動なども活発であり、多くの方々が生涯学習に励んでいます。

地域の文化活動を応援したい

さかもと るりこ
嘉麻市文化協会 会長 坂本 留里子さん

平成18年、1市3町が合併して嘉麻市が誕生したと同時に発足したのが嘉麻市文化協会です。地域の文化振興のために様々な取り組みを重ね、現在では稲築・碓井・嘉穂・山田地区の各文化団体が嘉麻市文化協会の4つの「支部」という位置づけで活動されています。

協会の役割は、各支部や各部門（展示・芸能・催し等）間の交流を促したり、行政に働きかけて助成金を確保する、広報をサポートする等の取り組みを行うことです。協会が取りまとめる大きな年間行事としては、納涼のつどいや、文化講演会・嘉麻文化芸術祭・嘉麻書初め大会など、開催する度に規模が大きくなっている行事も増えつつあります。嘉麻市文化協会 会長の坂本さんは、「今後も芸術が日常に溶け込んでいるような、文化的な環境づくりを目指し活動を行っていきたいです。」と話します。



芸能部門

文化協会の中で最多の58団体が所属しています。日本舞踊や民謡・和太鼓などの伝統舞踊から、フラダンス・ヨガ体操・カラオケ・音楽まで様々な団体がいきいきと活動を行います。合同でイベントに参加するなど、団体間の交流も盛んです。



催し部門

囲碁や将棋・茶道・着付けといった団体が所属しています。日々の活動のほか、囲碁や将棋の大会を開催したり、茶道サークルでは各地域の文化祭でお茶会を行うなど、サークル外の方々でも気軽に参加できる催しも行っています。



展示部門

絵画から書道・写真・生花・陶芸・パソコンまで様々な種類の教室や同好会が55団体も所属しています。100名以上の作品がずらりと展示される「百人交流展」などの規模の大きな展示会も開催されています。

地域を担うたくましい人材の育成

いなつき「Let's Go 通学合宿」実行委員会 やました つよし
副実行委員長 兼 サポーター指導係 山下 剛さん

いなつき「Let's Go 通学合宿」は、稲築西小学校と稲築東小学校の5年生の希望者を対象に平成9年から毎年実施されている取り組みで、子ども達は4泊5日の期間中、家庭を離れて公民館で集団生活を送ります。この取り組みは、仲間との合宿や地域の方々とのふれあいを通して基本的な生活習慣や、自主性、主体性などを身につけた地域の未来を担うたくましい人材を育成することを目的に実施されています。

副実行委員長の山下さんは「通学合宿を通して多くの子ども達や地域の方々と出会い、楽しい人生を送らせていただきました。今後子ども達が地域の要として活躍してくれることを願っています。」と話されていました。



山上憶良と嘉麻の歴史を伝える

かねこ ひでき
嘉麻のおくら短歌同好会 金子 英喜さん

日本最古の和歌集「万葉集」の代表的な歌人である山上憶良が、かつてこの嘉麻の地で「嘉摩三部作」とよばれる歌を撰定しました。その歴史を後世に残そうと、市内15箇所に山上憶良の歌を刻んだ歌碑が建立され、昭和43年から平成25年まで、大人も子どもも自由な発想で短歌を詠む「憶良まつり短歌会」が開催されていました。以前は500名もの歌人が集まり賑わった、この歴史ある短歌会を無くすのはもったいないと立ち上がったのが、「嘉麻のおくら短歌同好会」の皆さんです。歌碑の清掃活動や、嘉麻のおくら短歌コンクールを実施しており、代表の金子さんは「文化や歴史を残そうと努力し、活動された短歌会の歴代会長や市民の皆さんの功績をより多くの方々に知っていただきたい。今後も子ども達が胸を張って故郷を自慢できるよう、歴史を伝承していきたいです。」と話します。



歌碑の清掃活動

嘉麻のおくら短歌コンクール
藤袴の記念植栽

社会教育施設

後世に残したい
過去の貴重な
資料の数々

地域の時代の流れや伝統文化を学び、当時の人々の暮らしを知るためには、必要不可欠である郷土資料。嘉麻市では、郷土に受け継がれた貴重な歴史遺産を収集・保存し、市民のみならず市外の方でも自由にその歴史を学ぶことができるように努めています。

また、生涯学習を学ぶことができる社会教育施設も開設されており、嘉麻市の子どもから大人までもが生涯学習を学ぶ場として、皆さんに活用されています。

碓井
平和祈念館

平成8年開館。全国から収集された戦時資料が一堂に展示されている県内でも数少ない施設で、将兵が戦場で使用していた道具、銃後の生活用具をはじめ、日中戦争から太平洋戦争にいたる様々な資料を常設展示しています。また、人権シアターでは、九州水平社運動の黎明期に活躍した田中松月さんを紹介したミニシアターがご覧いただけます。正面入口前には「平和の火」が恒久的な平和を願い灯されています。



碓井郷土館

平成8年開館。織田廣喜美術館との複合施設となっており、現在、市内の主な埋蔵文化財、歴史民俗資料などを常設展示しています。埋蔵文化財では五穀神遺跡出土の後漢鏡、沖出古墳出土の埴輪・腕輪型石製品など、歴史資料では古代の遠賀川水運を記した奈良東大寺文書（複製品）、国鉄上山田線関係の資料などを見ることができます。

その後、51年の時を経て、旧碓井町へ

平成8年、旧碓井町は原爆の悲惨さや、平和の尊さを多くの人々に伝え広めると共に、豊かな未来を願い八女郡星野村（現八女市）の「平和の塔」から原爆の火の分火を受けました。この火は54名の子供達により、星野村から旧碓井町への全行程63.1kmを徒歩でリレーしながら大切に運ばれました。



平和の塔から分火



「火」が到着



「火」を灯す

平和の火は碓井平和祈念館のシンボルとして今日まで絶えることなく燃え続けています。



碓井郷土館 国 上臼井767番地

MAP B-4

☎ 0948-57-3176(平日のみ)
※令和2年10月より0948-62-5720へ変更
🕒 10:00～17:00(入館16:30まで)
🗓 毎週月曜日・火曜日(祝日の場合も休館)、
12/28～1/4、その他館内整理特別休館日

碓井平和祈念館 国 上臼井767番地

MAP B-4

☎ 0948-57-3176(平日のみ)
※令和2年10月より0948-62-5720へ変更
🕒 10:00～17:30(入館17:00まで)
日・祝日 10:00～17:00(入館16:30まで)
🗓 毎週月曜日・火曜日(祝日の場合は翌日休館)、
第4木曜日、12/28～1/4

嘉麻市
なつき文化ホール

嘉麻市内の社会教育施設において458名という最多の収容人数を誇る嘉麻市なつき文化ホール。舞台照明に楽屋や和室、研修室なども設備されており、講演会や子ども達の生活発表会、イベントなど様々な市民の交流の場として活用されています。



MAP C-3

国 岩崎63-8 ☎ 0948-42-1535
🕒 9:00～22:00
🗓 第2月曜日、12月29日～1月3日

山田生涯学習館

山田図書館を併設した山田生涯学習館は、木目を基調とした明るく自然の温もりのある造りとなっています。

各種研修はもちろん、講演会などにも適した音響設備のある視聴覚室や、様々な用途に適應する市民ギャラリー等の研修室も充実している施設です。



MAP D-4

国 上山田1347-10 ☎ 0948-52-0265
🕒 9:00～22:00
🗓 第2月曜日、12月29日～1月3日

夢サイトかほ

夢サイトかほは、嘉穂図書館や調理室、研修室や展示ギャラリーなどを設備する地域住民の生涯学習の拠点としての役割を担う複合施設です。施設内には収容人数300人の可動式観覧席も備えた文化ホールがあり、雄大な嘉穂アルプスを背景に多目的な利用が可能です。



MAP C-5

国 大隈町1228-1 ☎ 0948-57-0080
🕒 9:00～22:00
🗓 第4月曜日、12月29日～1月3日



芸術・文学

芸術や文化を
身近に感じる
ことができる街

日本洋画壇の巨匠、故・織田廣喜氏をはじめとして、古くから嘉麻市には独創的な作品を生み出す芸術家が存在し、今もお、精力的に活動されています。その芸術作品を多くの方に身近に感じていただくことができるのが、織田廣喜美術館です。織田廣喜の貴重な芸術作品を体感できるほか、地域で活動する作家の個展や、県内外から作品を集めての企画展や、福岡県美術展覧会 筑豊展も開かれるなど、芸術について学ぶ場として広く開放されています。さらに4つの図書館を設け、定期的にイベントを開催するなど、嘉麻市では芸術や文学を身近に感じることができます。

織田廣喜美術館

☎ 上臼井 767

☎ 0948-62-5173

🕒 10:00～17:00(入館は16:30まで)

🗓 毎週月曜日・火曜日、12/28～1/4、その他館内整理特別休館日

MAP B-4



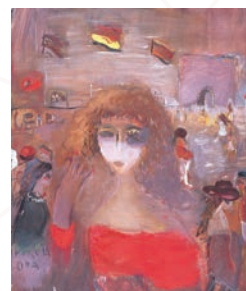
嘉麻市立織田廣喜美術館を含む4つの文化施設で構成された複合文化施設の碓井琴平文化館は、建築家 徳岡昌克氏による設計で、国内外の建築賞を受賞しました。



撮影 山口利明

おだ ひろき
画家 織田 廣喜

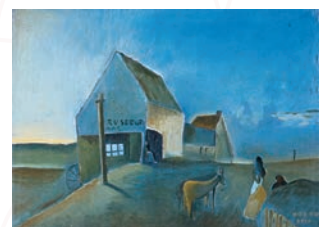
嘉麻市出身の洋画家。提灯屋の図案描きなど、様々な仕事を行いながら苦学して画家となり、二科展で出会った妻リラさんの支えで絵筆一筋の人生を邁進、2012年に98歳で亡くなるまで意欲的な創作活動を続ける。その一方で、1998年にリラさんが死去するまで、寝たきりの妻を愛し、共に生き、絵を描き続けた。そうして描かれた作品は、哀愁を感じさせる女性の姿や幻想的に描かれた風景が特徴的であり、世界的に高い評価を得ている。



パリの少女



讃歌



農場風景

織田廣喜の聖地で
芸術の魅力に触れる

1996年に開館した嘉麻市立織田廣喜美術館は、日本芸術院会員、二科会名誉理事長を務めた嘉麻市出身の洋画家、織田廣喜の作品を常設展示する美術館です。

展示室は初期から晩年までの作品を時系列に展示した部屋や、二科展出品作品の大作を一同に配した部屋など、個性ある4つの常設展示室と1つの企画展示室から構成されています。アトリエに残された未完成作品や、アトリエの扉などの遺品を収蔵しており、織田廣喜の魅力を様々な角度から感じることができるでしょう。

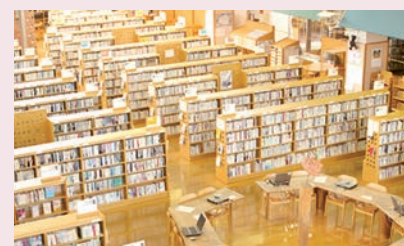
また、館内には各種講座や美術愛好家の活動の場として利用することができる「市民アトリエ」も備えられており、地域住民のサークル活動や、子ども達を対象とした芸術と触れ合う各種教室等も開催されています。



古処山で撮影され、様々な賞を受賞したCMに使用された「森の木琴」も展示されています。

嘉麻市立 図書館

嘉麻市内には計4つの図書館があり、市民の生涯学習の場として地域の歴史を守る役割、地域の文化を育てる役割、さらには地域の記憶を次世代へと継承する役割を担っています。各図書館では、読み聞かせなどのイベントも行っており、誰もが集う本のある広場として、地域に根ざした図書館づくりを目指しています。



山田図書館

MAP D-4

☎ 上山田1347-10 ☎ 0948-53-1143

🕒 水～土曜 10:00～18:00 日・祝 10:00～17:00

🗓 月曜日・火曜日・第4木曜日(祝日の時はその翌日)、12/29～1/4、図書特別整理期間



嘉穂図書館

MAP C-5

☎ 大隈町1228-1 ☎ 0948-57-3610

🕒 水～土曜 10:00～18:00 日・祝 10:00～17:00

🗓 月曜日・火曜日・第4木曜日(祝日の時はその翌日)、12/29～1/4、図書特別整理期間
※第4月曜日が祝日の時は休館



碓井図書館

MAP B-4

☎ 上臼井767 ☎ 0948-62-5174

🕒 水～土曜 10:00～18:00 日・祝 10:00～17:00

🗓 月曜日・火曜日・第4木曜日(祝日の時はその翌日)、12/29～1/4、図書特別整理期間



稲築図書館

MAP B-3

☎ 岩崎1141 ☎ 0948-42-7046

🕒 水～土曜 10:00～18:00 日・祝 10:00～17:00

🗓 月曜日・火曜日・第4木曜日(祝日の時はその翌日)、12/29～1/4、図書特別整理期間
※第4月曜日が祝日の時は休館

学校教育

個性や能力を
伸ばし、豊かな
心を育んでいく

社会のグローバル化、情報化が一層進展し、更なる少子化や高齢化が進むことが見込まれるなか、子ども達を取り巻く環境も大きく変化していくものと考えられます。そのような予測不能な未来の社会をたくましく生き、充実した人生を主体的に切り拓き、郷土社会に貢献する力を身につけた人材を育成することが学校教育に求められる役割です。

学力向上を目的とした少人数教育など、特色ある小中学校教育および、県下初の総合学科高校である福岡県立稲築志耕館高等学校で実施されている教育施策をご紹介します。

福岡県立

MAP B3

稲築志耕館
高等学校

18のモデルコースで、夢を現実に導く

稲築志耕館高等学校は「立志耕道・進取闊達」の校訓のもと、あらゆる進路に対応するキャリア教育を行っている県下初の総合学科高校です。大学系、商業系、看護・福祉系、家庭・芸術系など18のモデルコースが用意されており、生徒は約110科目にも及ぶ豊富な科目から自分の適性や希望に合わせて時間割を自由に選択することができます。講師陣も分野ごとに専門の先生が対応し、進路実現に向けてきめ細やかな指導が実施されています。



看護 | 理想の看護師になるために

看護(福祉)専門の先生から受験や時間割作成の指導が受けられ、専門的な教科を授業や課外で受講できます。また、少人数授業で手厚い指導を受けることができます。



商業 | 資格取得を目指して

就職には幅広い知識や技術が求められるため、検定試験などの資格取得を通して、社会人として不可欠な能力を身につけ即戦力となれるように頑張っています。また、就職だけでなく、大学進学では、総合学科枠としての受験も可能です。



部活動の奨励

部活動を奨励しており、文武両道を目指しています。現在では、15の運動部、11の文化部が活動しており、それぞれの部活動が目標に向かって日々活動しています。平成30年8月には郷土芸能部が全国大会に出場しました。

小中学校教育



少人数指導の充実

小中連携教育を推進しながら、小中学校全学年において1学級30人以下の少人数指導を実施。より個々に応じた、きめ細やかな指導を行っています。



ひと・もの・ことを活用した教育

地域との連携・協働を図りながら、郷土の資源である、ひと(住民)、もの(史跡や施設)、こと(行事)を活用したカリキュラムを創造し、人と郷土で織りなす教育の実現を目指しています。その一つとして、地域住民と共に様々な場所を清掃するクリーンアップ活動などを実施し、人との出会いや地域の魅力を再発見する機会にもなっています。

郷土を愛し、地域の
未来を担う人材育成

2009年から嘉麻市教育基本条例に基づき、教育アクションプランが策定されています。2019年からは、第4次嘉麻市教育アクションプランとなり、郷土の資源である「ひと」「もの」「こと」を活用し、ふるさと嘉麻の良さを知り、大切に思い、誇りに思い、未来の嘉麻を担っていく人材を育む「人と郷土で織りなす教育」の実現を目指しています。

そのなかで、学校教育では「就労する力の養成」を大きな目標として、「学力向上」「不登校解消」「規範意識の醸成」「郷土を愛する人材育成」の4つを柱に、様々な施策を行っています。学校教育を通して嘉麻市の未来を担う子ども達が、多様な個性・能力を伸ばし、志をもってたくましく生きる力を養成します。

福岡県立嘉穂総合高等学校

嘉麻市立
大隈城山校

MAP C-4

嘉麻市立大隈城山校は福岡県立嘉穂総合高等学校の分校です。昼間定時制の生活情報科を有し、きめ細やかで総合的な教育を展開することにより、高度情報通信社会の幅広い分野で活躍できる人材を育成しています。実習科目は少人数授業を行うなど学びやすい学習環境が整えられています。



体をつくり、健康に 運動・スポーツを 通して、体づくり・ 人材づくりを行う

嘉麻市では、「嘉麻市モデル」としてコーディネーショントレーニングによって健康なひとづくり、まちづくりを進めるためのプログラムを提供し、運動とスポーツを通じた地域の活性化と人材育成を目指す取り組みを行っています。

コーディネーショントレーニングをはじめ、様々な運動教室を実施することにより、体力・運動能力の発達はもちろんのこと、知的能力の発達、情緒的な安定や創造性豊かな人格形成を目指すことを目的とし、誰もが希望に満ちた人生を送れる健康な地域社会づくりを進めています。

全国へ挑む若者達が 嘉麻市を駆け抜ける

全国高等学校
駅伝競争大会
予選会場



嘉麻市陸上競技場の建設及びマラソンコースの整備が行われたことをきっかけに、平成9年から毎年全国高等学校駅伝競争大会の福岡県大会が嘉麻市で開催されています。このコースは交通量も少なく、選手にとって日頃の成果を存分に発揮できる好環境な大会となっています。さらに、このような県大会の開催実績やコース環境の良さを評価され、九州大会の開催地にも度々選ばれるなど、まちの活性化の一助としての役割も担っています。

多くの参加者で賑わう 嘉麻の秋の風物詩

かまナイト
ウォーキング



かまナイトウォーキングは、県内外問わず多くの参加者が集い、心地よい秋風を感じながら夜道でウォーキングを楽しむイベントです。お子さまからご高齢の方まで参加できるよう、10kmと20kmの2コースを設定。人口減少が問題視されるなかで、交流人口を増やすイベントはとても貴重なものとなっており、参加者へ嘉麻市の魅力をPRする物産販売ブースも設置しています。家族での参加も多く、嘉麻市の自然を体感しながら運動できるイベントとなっています。

仲間と共に協力し ゴールを目指す

楽しく走ろう！
ふくおか子ども
駅伝in嘉麻



楽しく走ろう！ふくおか子ども駅伝in嘉麻は、毎年2月の第3日曜日に山田生涯学習館前道路をコースとし、小学生を対象に行われる駅伝大会です。子ども達の健全育成と交流を図り、学年や勝ち負けにこだわることなくグループで楽しく走りながらタスキをつないでゴールを目指すことを目的として開催されています。毎年、福岡県内外から多くのチームが参加し、スタートの合図と共に元気に走り出す子ども達の姿が見受けられます。



コーディネーション トレーニング

運動・スポーツを通し、様々な
視点からまちづくりを推進

全国の地方公共団体にとって、人口減少やコミュニティの再生は共通の課題であり、嘉麻市もその例外ではありません。このような課題を解決するため、嘉麻市では、「人づくり」が魅力的な「まちづくり」につながるという考えから「プロジェクトK」という事業を創出しました。人が育てば、各々が持つ想像力や行動力を持ち寄って、さまざまな活動が活発になり、地域も活性化していきます。

この事業の根幹には、徳島大学荒木秀夫名誉教授が提唱するコーディネーショントレーニングがあります。乳幼児から高齢者、障がい者に至るすべての市民を対象に、脳科学、認知科学などに基づいたコーディネーショントレーニングを導入することにより、体力・運動能力の発達だけでなく、知的能力の発達、情緒的な安定や創造性豊かな人格形成を目指して、普及を進めています。

私が提唱するコーディネーショントレーニングは「身のこなしを通して知性、感性の潜在的能力を引き出す」ことを目的としています。簡単な運動がほとんどですが、この中にこそ人間の真の能力を引き出す要素が含まれています。コーディネーション理論は、脳神経科学、認知科学などの学問的な知見とともに、近年登場した身体技法から派生したものです。プロジェクトKは、今後さまざまな分野に展開していきますが、人材育成に向かって進める事業だということを強調したいと思います。

徳島大学名誉教授
あらき ひでお
荒木 秀夫



健康に過ごせるまち

誰もが健やかに
暮らせる、福祉の
まちづくり

高齢者や障がい者が、いきいきと健康で社会参加できる仕組みづくりや、安心して子どもを産み育てられるまちを目指し様々な取り組みを行なっています。

乳幼児から高齢者まで、それぞれの年齢や生活状態に応じたサービスを提供できるように努めることも、行政だけでなく、福祉や健康に関する様々な機関と連携をとりながら保健・医療・福祉の充実化を図っています。生涯を通して健康で、心安らぐ暮らしを送っていただくために、健康寿命を延ばすための運動教室、食事指導なども積極的に実施しています。

気軽に利用し汗を流せる施設を整備

稲築保健センターの2階には、健康増進室というトレーニングルームがあります。ウォーキングマシンやエアロバイクなどのトレーニングマシンから、電気イス・マッサージチェアなどのリラクゼーションマシンまで充実した設備が整っており、冷暖房完備の快適な空間でどなたでも気軽に体を動かすことができます。

運動指導員による運動教室も実施されており、健康維持・増進のために多くの市民に利用されています。



障がい者にやさしいまち

嘉麻市では、「障がいによる差別を許さない心を育て、障がいのある人もない人も、住み慣れた地域で自立しながら、相互の人格と個性を尊重し、共に地域を支え、豊かなふれあいを通じて人間らしくあたり前に生活し、活動できる環境づくり」を障がい者計画の基本理念としています。平成29年に、障がい者基幹相談支援センターを開設し、日常生活や社会生活に関する相談・支援体制の充実に取り組んでいます。

また、障がい者が住み慣れた地域で自立し、安心して生活を送っていくために、障害福祉サービスの提供、生活に必要な日常生活用具などの給付、障がい者団体への支援などの充実に努めています。



介護予防のために各種教室を実施

1日でも元気に、健康に暮らしたいというのは、誰もが抱く願いではないでしょうか。そのためにも、重要となってくるのが介護予防です。嘉麻市では、高齢者を対象とした、いきいき運動教室や、お元気デイ、オレンジサロンなど、健康的な生活を送る一助となる様々な高齢者教室を実施しています。これらの教室は、健康維持・増進としての目的のほか高齢者同士のコミュニティづくりとしても期待されています。



妊娠・出産・育児といった切れ目ない支援を行います

嘉麻市では、子ども達が健やかに発達・成長でき、さらに保護者の方々の抱える育児における悩みや不安を少しでも解消できるよう、助産師や保健師・管理栄養士などの専門の職員が中心となって様々な支援を行っています。

妊娠中のお母さんを対象としたマタニティ教室から始まり、出産後には赤ちゃん訪問や、嘉麻市産のヒノキから作られた積み木もプレゼント。さらには4か月児、7か月児、1歳6か月児、3歳児を対象に乳幼児健診を行うなど、切れ目のない支援を目指しています。



高齢者相談支援センター

専門分野のエキスパートが在籍

嘉麻市高齢者相談支援センターは、介護・健康・福祉・虐待防止・権利擁護など、高齢者の暮らしに関わる相談や問題に対応するワンストップ相談窓口です。保健師・看護師・社会福祉士・ケアマネージャーなど、専門職の職員がチームを組み、相談に応じています。

さらに、行政・医療・保健・福祉の専門機関・介護サービス事業者・住民組織など、地域のあらゆる組織や人材と協力し合い、いつでも連携をとれるネットワークを構築しているため迅速かつ包括的なサポートを行えることが特徴です。

